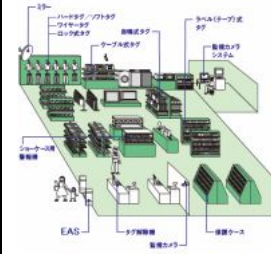


## 万引犯罪防止の唯一のソリューション団体 新生JEAS 経済損失面から万引犯罪を問う！



### 本日の講演内容

- 新生JEASの活動
- 万引犯罪の状況
- 万引防止システムの導入事例
- 社会の防犯インフラとしての「ソースタギング」

## 新生JEASの活動

## JEASの組織

名称：日本万引防止システム協会  
 設立：平成14年6月  
 会長：山村 秀彦（高千穂交易㈱・会長）  
 会員：正会員25社、協賛会員1社、特別会員4団体 平成24年1月末現在  
 事業：万引犯罪防止システムの普及推進  
 組織：



1. ソースタギング準備委員会
2. 技術基準委員会

## 協会設立と主旨

「日本EAS機器協議会（略称JEAS）」設立：平成14年6月  
 「日本万引防止システム協会（略称JEASを継承）」に変更：平成23年6月

万引防止システムを製造、販売、サポートする企業の業界団体です。

1. 小売業界の健全な経営視点
  - ① 万引きロス防止による収益向上のサポート
  - ② 犯罪が起きにくい売場の提供のサポート
2. 社会貢献の視点
  - ① 青少年の健全育成
  - ② 地域社会全体での取り組み
  - ③ 業界全体での取り組み
3. 消費者の視点
  - ① 万引きロスをお客様が負担している状況からの改善
  - ② 安全・安心・快適な売場づくり



会報

## ※ EASの目的と黎明期

一般に商品管理装置や万引防止機と呼ばれるEASとは、感知ラベルやハードタグを装着した商品をレジで精算せずに通過したときにアラームを鳴らして商品の不正持ち出しを防止する機器のことです。  
 ※EASはElectronic Article Surveillance（電子式商品・物品監視）の略語です。

EAS導入目的は次の3つです。

1. 万引犯罪の未然防止・・・初発型犯罪の抑止効果
2. 万引犯罪の再犯防止・・・累犯化の抑止効果
3. 万引犯罪の集積防止・・・不正情報発生の抑止効果



EASは米国において昭和41年に開発され、日本では昭和48年より販売を開始しました。当初は「お客様は神様、お客様を疑うなんて・・・」と売れない時代が続きました。その後、音楽CDやゲームソフトの登場、セルフ販売の定着化や商業施設の大型化により、EASの必要性は高まってきております。

## JEAS活動報告

### ■ 調査・研究の実績

- 「万引防止対策・都道府県実態調査」報告書（平成16年9月）
- 「万引に関する10の誤解」制作（平成17年3月）
- 「万引き防止機器ハンドブック」制作（平成17年6月、平成20年6月）
- 「EAS機器の市場規模に関する調査」報告書（毎年調査）
- 「EAS機器の実態調査」報告書（平成18年6月、平成20年6月）
- 「ソースタギングに関する意識調査」報告書（平成21年6月）

### ■ ご講演（一部）

- 万引防止のセミナーを開催し各界の代表者や専門家のご講演をいただいております。
- 日本小売業協会会長 土方 清様（平成23年6月）
  - 警視庁生活安全部長 山下 史雄様（現総理大臣秘書官）（平成22年6月）
  - 防犯理論のご専門 立正大学文学部社会学科教授 小宮 信夫様（平成21年6月）
  - 電波技術のご専門 情報通信研究機構 工学博士渡辺 聡一様（平成21年11月）

### ■ ご協力

東京都、警視庁等の関係機関をはじめ、各小売業団体の万引防止活動にご協力させていただきます。NPO法人 全国万引犯罪防止機構の支援を機構の発足時から致しております。

# 機器を正しくご利用いただく活動

## 1. 安全・安心な機器のご提供



ペースメーカー等医療機器装着者の皆様、一般のお買い物のお客さまに安心してお買い物をいただくために、EAS機器とペースメーカーとの電波干渉テストの実施ならびに「EASステッカー」をEAS機器に貼付しております。

## 3. 設置基準の整備 (例)



## 2. 保守契約の推進



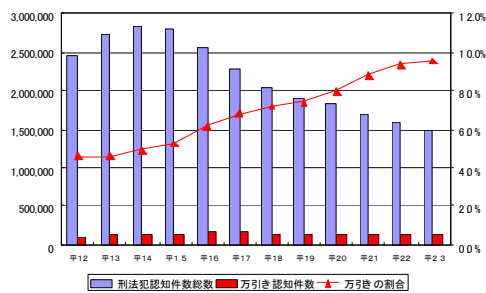
## 4. JEAS講習会の実施



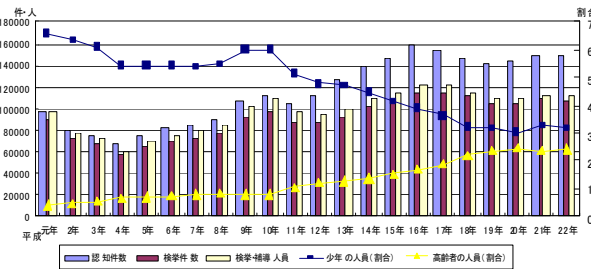
# 万引犯罪の状況

# 高止まりの万引犯罪

刑法 犯罪認知件数に占める万引きの割合



# 成人の犯罪になった万引



警察庁統計データより

# 年間の万引被害総額

推定被害額 年間4,615億円 (消費税230億円)  
(1日あたり 12.6億円)

2010年10月14日、警察庁、法務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省と、民間31団体が参加した「万引防止官民合同会議」の席上で発表された。07年に経済産業省が発表した「商業統計」によると、対象となる小売事業所の年間売上高は98兆2044億5100万円、全国万引犯罪防止機構が調査した07年度の資産ロス率は0.94%、不明ロス高における万引き被害の割合が約50%だったことから、全国的に見た万引きによる被害額は4615億円と推定することができる。

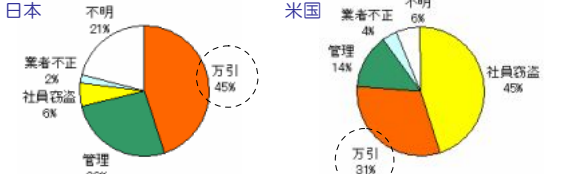
その損失が売価に上乗せになっていると仮定した場合  
4人家族一世帯あたり年間14,726円を負担

# 不明ロスの日米調査データ

2010年度 全国小売業不明ロス調査の日米比較

対象	調査機関	企業数	EAS導入率	不明ロス率 (前年)	不明ロス内訳				
					万引	管理	社員窃盗	業者不正	不明
日本	万犯機構	253社	88.7%	0.65% (0.42%)	45%	26%	6%	2%	21%
米国	フロリダ大学	138社	88.1%	1.49% (1.44%)	31%	14%	45%	4%	6%

不明ロスの内訳



日本では万引対策を主に総務の防犯部門が担当し、商品管理は業務部門が担当されています。米国では損失予防を重要な経営戦略と位置付け、ロスプリベンション部が全体を統括しています。

## 不明ロスの状況

2010年度

ロス率10年度	
カジュアル衣料	2.02%
百貨店	1.02%
書籍・文具	0.88%
HC・カー用品	0.82%
CVS・ミニスーパー	0.80%
総合DS	0.70%
スーパー	0.65%
生活協同組合	0.59%
婦人服・子供服	0.58%
服飾・服飾雑貨	0.54%
家電製品	0.53%
医療品	0.39%
その他専門店	0.36%
スポーツ用品	0.34%
楽器・CD	0.26%
靴	0.18%

青少年の万引きが多い

高齢者万引きが増加

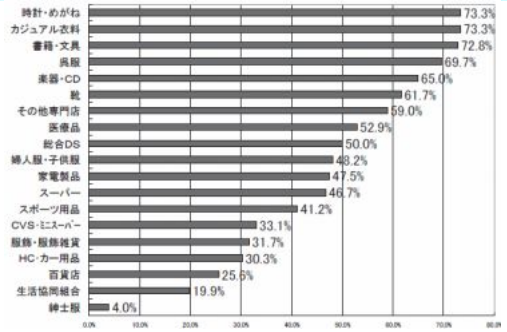
※サンプル数3社以上を累計

第6回全国小売業万引被害実態調査報告書

13

## 不明ロスに占める万引被害の割合

2010年度



第6回全国小売業万引被害実態調査報告書

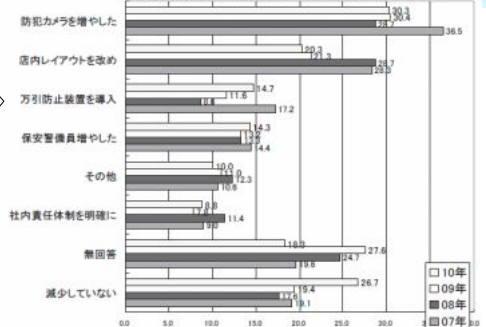
14

## 万引防止システムの導入事例

## 万引を減少させる手立て



直近で万引が減少してるとしたら、その原因として考えられるもの



第6回全国小売業万引被害実態調査報告書

16

## 2010年のEASの設置台数

2010年度におけるEAS機器の設置台数(店舗別設置台数)

ドラッグストア	2,137
ホームセンター	935
衣料品、ブランドショップ	1,596
スポーツ用品店	477
AV・メディアソフト店	883
家電量販店	1,265
まんが喫茶、ネットカフェ	42
カー用品店	192
図書館、資料室	233
総合スーパー	1,462
ディスカウントストア	300
書店	465
その他	2,127

JEASとしては、  
 1. 青少年万引きが発生するコンビニ業界  
 2. 高齢者万引きが増加しているスーパー業界  
 にも、万引防止システムの普及に努める所存  
 です。  
 コンビニ業界の万引ロス額 207億円※  
 7兆8,077億円の市場(CVSマーケット年販)×不明ロス率0.80%×万引の割合0.331=2.07  
 スーパー業界の万引ロス額 688億円※  
 22兆6,000億円規模の市場(最新の商業統計)×不明ロス率0.65%×万引の割合0.467  
 ※推定値

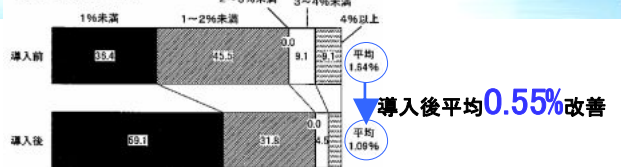
※「その他」は、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、百貨店、時計・アクセサリー店、パチンコ店、福祉施設、メガネ店、リサイクルショップなど。

計12,115台

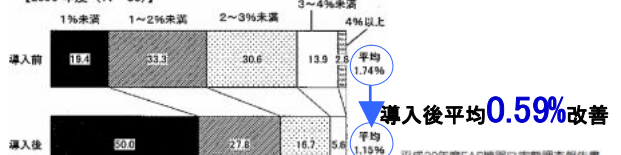
17

## EASの導入効果

【2008年度 (N=23)】



【2006年度 (N=36)】

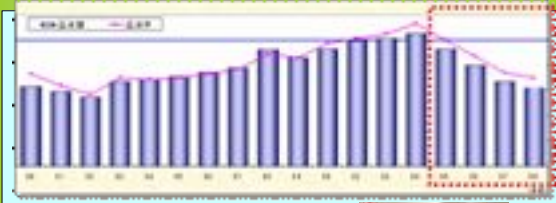


平成20年度EAS機器に実態調査報告書

18

## 万引防止システム導入後のロス削減効果（GMS事例）

### 不明ロスのトレンド（90年～08年）



### 対策の一例



## 万引防止システム導入後のロス削減効果（書店事例）

### 年間約1,403万円の不明ロス額削減に成功

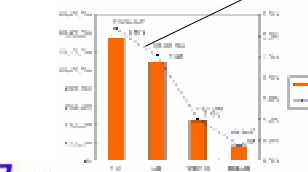
#### 企業様情報

月商4300万円の店舗 売り場面積800坪

(3月)  
万引ロス額 136万円  
↓  
万引ロス率 3.16%

EAS導入

(翌年9月)  
万引ロス額 16万円  
↓  
万引ロス率を  
約 0.38%へ削減



業種：書店  
タグ：ラベル式

年商5億1,600万円 × (導入前  
不明ロス率3.1% - 導入後不明  
ロス率0.38%) = 1,403万円

## 万引防止システム導入後のロス削減効果（HC事例）

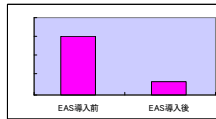
### 導入後不明ロスが1/5になる。(全店導入)

万引防止システムの種類：EASと CCTV

設置場所：店舗出入口

タグの種類：消去式ラベルタグ、自鳴式タグ

導入店舗：55店舗



商品への適正なタグ付け、声かけなど、EASシステムの運用状況を定期的にチェックし見直すことで、継続した導入効果を上げています。導入前と比較して、導入後2年でロス率は5分の1まで減少しました。

## 万引防止システム導入後の売上改善効果（家電事例）

### 実物展示により、売上10%UP・運用効率化を実現

万引防止システムの種類：EAS&CCTV

設置場所：店舗出入口

タグの種類：巻き付け式自鳴タグ

盗難の対象となりやすいため、これまでガラスケースや空箱で展示されていた高額商品に巻き付け式自鳴タグを取付け、実物展示を実施。万引きされずに、売上が10%向上が実現！さらに品出しの手間も大幅に軽減され、更に接客に専念できる環境作りができました。

#### 【オープン陳列による効果】

改善前:

ガラスケース 万引対策：◎  
空箱 運用面：×

改善後:

実物展示 万引対策：◎  
効果：◎  
運用面：◎

売上の向上

運用効率化

## 万引防止システム導入後のロス削減効果（図書館事例）

### 5年間のコスト削減が1,000万円

設置場所：図書館  
タグ付け基準：全数  
(15万冊)

蔵書数.....150,000冊\*  
不明率.....1%/年(独自調査)  
図書平均単価.....2,330円\*  
図書新規購入率.....4%\*  
リース期間.....5年(リース料 1.87%)  
\*「日本の図書館・統計と名簿2010」より  
検知ゲート1組、消去/付加機3台、タグ15万枚を購入  
⇒5年間で約1,000万円のコストセービング効果

大学図書館においては蔵書の価値の高さから、持ち出し防止システムに対する要求は従来から存在し、非常に多くの図書館でシステムが採用されています。弊社独自調査によると図書館市場における不明図書割合はおおよそ1%であり、蔵書数が15万冊規模の図書館において、システム導入によるコスト削減効果は5年間で累積1000万円になります。

公共図書館でも市民の資産を守る、という方針の下にご導入いただいた事例では導入により不明図書の数が1/10になったという実績もあります。

また、近年多くの大学図書館が24時間の開館を検討・実施しており、持ち出し防止システムの導入により、監視のための人員削減効果も併せて期待できます。

## 防犯ミラー導入事例（ビックカメラ様）

### ミラー取り付け後、万引犯を3件検挙！



「本日、ミラー設置状況確認のため 新宿・渋谷・横浜地区へ行って参りました。渋谷東口店では、ミラー取り付け後に万引犯を3件も検挙したそうです。店長代理の話によると、店に配属されている私服警備員と入念な打ち合わせをして取り付け位置を決めたそうです。その結果、私服警備員からも『死角がなくなった』と大変好評です。また、結果として万引犯の検挙へつながり、私自身も非常にうれしく思います。株式会社 ビックカメラ 営業部 竹内大様 ミラーに感謝!!」

## 万引防止システムのロス削減効果（三洋堂書店様事例）

### 不明ロスが半減という劇的な結果

三洋堂書店社内速報351号 <http://www.sanyodo.co.jp/contents/05syanaih/0351.html>

書籍・雑誌について防犯ゲート導入店舗グループは、不明ロス率の半減という劇的な効果になりました。

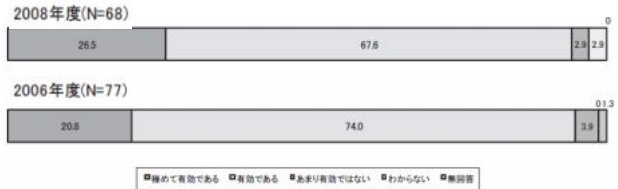
データとして良い数字がでましたので、今後は未導入店を含めてゲートの導入等、手を打って、会社全体のロス率をもっと減らしていきます。お店で集中的に警備員を入れて欲しいなど要望がありましたら、どしどしお寄せ下さい。積極的にロスの出ない安全な店作りを取組みます。

EAS導入

分類	26期上期 EAS導入前	27期上期 EAS導入後
書籍・雑誌 不明ロス率	1.28%	0.56%

## EASのユーザー様評価

EAS機器の万引行為に対する有効性についての評価：導入企業対象



平成20年度EAS機器に実施調査報告書

## 社会の防犯インフラとしての ソースタギング

## 社会の防犯インフラとしての ソースタギング

「ソースタギング」とは、セキュリティタグを商品の製造や梱包、または物流段階で商品に装填・内蔵することです。セキュリティタグ貼付けは時間的にもコスト的にも負担が増大しています。ソースタギングは、万引防止とオープン陳列による売上の増加に貢献するとともに、消費者の快適なショッピング環境を作り出すプログラムであり、万引犯罪を起させない社会を作る流通業界総ぐるみの防犯ソリューションです。



## ソースタギング海外事例

<採用企業一例>



## ソースタギングを実現させる為に

日本万引防止システムと致しましては、ソースタギングは安全・安心な社会構築のインフラとして考え、小売業とメーカーやベンダーの間に立ち、両者の橋渡しの役割を担いながら、一方で消費者や行政への情報提供を行い、日本のソースタギング実現に向け、活動したいと考えております。

最終的にソースタギングのメリットは流通関係者だけでなく、消費者や行政に及びます。「社会規範遵守の具体的な一手」として、社会総ぐるみでソースタギングを推進していただくよう切望しております。

### ソースタギング実現にむけてのステップ

【ステップ1】社会全体、特に消費者から支持されるための広報活動。

【ステップ2】行政・消費者・製造・物流・小売・関連団体が参画する推進体制(プロジェクト)を発足させ、実現にむけたスケジュール化や費用対効果を含むインフラ投資案を練り上げる。

【ステップ3】効果的で安定的なシステム・運用体制の仕掛け作りのための検証活動。

【ステップ4】ソースタギング運用のための規格やルール作り。

【ステップ5】ソースタギングのスタート。

ご清聴ありがとうございました

